



A 「~てくる・~ていく」をつける場合

◆動作の方向や話者のいる位置をはっきりさせるために、移動の動詞や方向のある行為を表す動詞には「~ている・~てくる」をつけたほうが良い場合があります。

例 × 先週、国からお客様が訪ねた。(どこを訪ねたかわからない。)

○ 先週、国からお客様が訪ねてきた。(話者のところを訪ねた。)

? 隣に住んでいる人はいつもいろいろ文句を言うので、気をつけよう。

(だれに文句を言うのかわからない。)

○ 隣に住んでいる人はいつもいろいろ文句を言うので、気をつけよう。

(話者に文句を言う。)

B 視点の位置

◆視点の固定：現在話者が実際にその位置にいても、心理的に話者のいる位置に視点を置いて述べることができます。

例・わたしは毎年沖縄の実家に帰る。今年はいとこたちが子供を連れてくると言っていた。

(話者の心理的位置=実家)

・実家には何年も帰っていないが、今年はいとこたちが子供を連れていくと言っていた。

(話者の心理的位置≠実家)

◆視点の移動：複文、または文章の中で話者の心理的位置が変われば、視点も変わります。

例・昨日、学校へ本をたくさん持っていき、リンさんも大きな荷物を抱えてきた。

(話者の(心理的)位置=家→学校)

・大きな道具はここに置いていこう。そうすれば、だれかが気がついて会場まで持ってくるだろう。

(話者の(心理的)位置=ここ→会場)



◆小説や情景の描写などでは、書き手は感情移入している登場人物の視点に立って書くことが多いです。

例・いつものカフェでコーヒーを飲んでいると、背の高い男が近づいてくるのが見えた。男は、かおりがそこにいることに気がつくと、さっと振り向いて足早に駆けていった。

追っ ていこうとしたが、すでに姿は見えなくなっていた。

登場人物 : かおり 男

書き手の視点: かおり側へ ①~てくる

かおり側から ②~ていった ③~ていこう

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

1-a 下山途中、けがをしてしまった。だんだん暗くなってきた。遠くに明かりが見えたので、足を引かずって(a きたら b いったら)民家だった。その日はそこに泊めてもらうことにした。

1-b 下山途中、けがをしてしまった。辺りは暗かったが、この山小屋までやっとの思いで歩いて(a きた b いった)。今日はここに泊めてもらうことにした。

2-a ベルトコンベアで部品が運ばれて(a きた b いった)。わたしのアルバイトはこの部品を箱に詰める仕事だ。

2-b 工場でき上がった商品は、出荷のためにベルトコンベアで運ばれて(a きた b いった)。これからあの電気製品は、日本から遠く離れた国の人たちにも使われるのだ。

3-a 電話が鳴ったので受話器をとると、田中さんへの電話だった。食事に出かけたと伝えているちょうどそのとき、本人が帰って(a きた b いった)。

3-b 電話が鳴ったので受話器をとると、田中さんへの電話だった。ちょうど事務所を出て(a きた b いった)ばかりだったので、伝言を聞いておいた。

4-a 博物館の展示を見た後、出口のところで偶然友達に出会った。それで、一緒にお茶を飲みながら、近況や、見て(a きた b いった)土器のことを話した。

4-b 博物館の入り口のところに「歴史的に古いものから順番に土器が並べられていますから、順番に見て(a くれれば b いけば)、自然に出口に出ます。」と書いてあった。



練習2 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 大阪へ出張の日のことだった。この1か月、次第に仕事の量が多くなって(① a きたので b いったので)疲れていた。駅に向かう途中、大阪での会議のためにもう一つ別の資料を持って(② a きた b いった)ほうがいいことに気がついた。会社に電話したら、田中さんがすでに(③ a きていた b いていた)。わたしは電話で田中さんに、これから東京駅へ向かい、改札口で待っているから、東京駅へ資料を持って(④ a きて b 行って)ほしいと頼んだ。
- 2 10歳までわたしはタイに住んでいた。家はとても広かった。何人お客さんが訪ねて(① a きてても b いても)大丈夫だった。わたしはお客さんが持って(② a くる b いく)お土産が楽しみだった。でも一番うれしかったのは、ときどき日本から送られて(③ a くる b いく)祖母からのお菓子だった。昨年、昔住んでいた家を訪ねてみた。懐かしい家に近づいて(④ a くると b いくと)、昔のままの空気が感じられた。
- 3 学校の遠足の付き添いは大変だ。ある時は先頭になって歩いて(① a くる b いく)し、またある時は子供たちの一番後ろに回って、全員が先頭の先生に(② a ついてきているか b ついていつているか)を確認しながら歩かなければならない。
- 4 留守番をしている子供に電話して、宅配便の人が荷物を持って(① a きたら b いったら)、受け取っておくようにと頼んでおいた。そして、お父さんが帰って(② a きたら b いったら)、お母さんはおばあちゃんの家りんごを持って(③ a きた b いった)と伝えるように言った。
- 5 これまでわたしは写真家として、「暮らし」をテーマに撮り続けて(① a きた b いった)。そして、写真を撮るだけの人間として、社会的発言は控えて(② a きた b いった)のだ。しかし、この度の事件をきっかけに、世界の枠組みが大きく変わって(③ a くる b いく)のを感じている。すでにわたしは60歳を越えているが、残りの人生は今までの自分から脱皮し、発言をして(④ a くる b いく)べきだと考えている。

まとめ 次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、 1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

昔から日本人は山からの恵みを得て 1。山には多くの森林がある。森林は材木の宝庫であるだけでなく、空気中の炭酸ガスを吸収してくれるので、環境保護にはなくてはならないものだ。

日本は国土の約7割を森林が占めている。こんなに多くの森林があるのに、林業をする人や山村に 2 人が減って、森林の手入れが行き届かなくなっている。森林の手入れとは、木の下に 3 草を取ったり、木と木の間に適度な空間ができるように、植え方を調節することである。この手入れをしないと、元気な森林にはならない。

また、最近ではもともと日本にはない、外国から 4 植物によって、森林のバランスが崩れてきている。これらのバランスを取り戻すための手入れも必要になっている。

日本は世界に向かって温室効果ガスを減らすと約束している。この約束を果たすため、森林の国日本は、森林による炭酸ガス吸収に頼る部分が大きい。それにはどうしても森林の元気な力を取り戻す必要がある。政府もいろいろな対策を考えているが、まだまだ不十分だ。どうすれば豊かで元気な森林を 5 ことができるか、民間レベルでも真剣に考えるべきときが来ていると思う。

1

- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1 暮らしてくる | 2 暮らしていく | 3 暮らしてきた | 4 暮らしていった |
|----------|----------|----------|-----------|

2

- | | | | |
|------|---------|---------|---------|
| 1 住む | 2 住んでいた | 3 住んでいく | 4 住んでくる |
|------|---------|---------|---------|

3

- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1 生えてくる | 2 生えていく | 3 生えていった | 4 生えていた |
|---------|---------|----------|---------|

4

- | | | | |
|---------|--------|----------|---------|
| 1 出ていった | 2 出てきた | 3 入っていった | 4 入ってきた |
|---------|--------|----------|---------|

5

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1 守ってくる | 2 守っていく | 3 守っている | 4 守っていった |
|---------|---------|---------|----------|